

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある
地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。
このコーナーでは、市が「取り組む」
「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。
市民協働課 ☎82・2130/IP ☎88・9085

1 歴史の講座開催

～宇陀松山まち協～

9月21日(日)、宇陀松山会館にて
「城下町から商家町へ！地割の復原に
よる元禄期の宇陀松山の姿」と題し
た歴史講座を開催しました。講師は
奈良大学の土平博教授にお願いしま
した。

宇陀松山は、城下町から商家町へ
と変容した稀有な事例であり、地割
の復原を通じてその歴史の変遷を明
らかにすることができます。土平教
授は、町名や地図の復原などの調査
研究をもとに、元禄期の宇陀松山の
姿について詳しく解説されました。



▲説明する土平教授



▲歴史について学ぶ皆さん

2 菟田野で農業体験

～菟田野まち協～

実りの秋が訪れた10月に、当まち
協では、農業体験の事業を実施しま
した。

10月4日(土)は、市内外の方を
対象にした「稲刈り&収穫体験」で
す。今年は12組37人の方に参加いた
だきました。まず、刈り取った稲を
束ねる紐「サンバイコ」作りにチャ
レンジ。ベテランスタッフの指導で
皆さん見る間に上達していきまし
た。続いて、雨が時折降る中で、サ
ツマイモ掘り、落花生の収穫です。
「サツマイモは、茎が大きくなった
ものなんですよ！」との説明に、皆
さん驚いていました。最後は、雨水
が溜まった田んぼでの稲刈り体験。



▲サンバイコ作りは初めて！



▲稲刈りってたいへん！！

ぬかるんだ足元で作業ができるか心
配しましたが、皆さん全身泥だらけ
になりながらニコニコ顔。お土産の
お米やサツマイモを大事に抱えて、
大満足で会場を後にされました。
10月7日(火)は、菟田野小学校
の5年生を対象にした稲刈り体験で
す。5月にみんなが手で植えた小さ
な苗は、5か月が過ぎ、稲穂が垂れ
て大きく育ちました。さあ、初めて
の稲刈り作業です。慣れない手つき
で株をつかんで鎌を入れます。ほと
んどの児童が、稲刈りは初めてで、
こうやって普段食べているお米が作
られていることに驚いていました。
この日も、田んぼはぬかるんでいま
したが、時間が経つのを忘れて稲刈
りに夢中になっていました。この日
に刈り取った稲は、精米して小学校
の家庭科の時間で試食するそうです。

3 長寿をお祝い

～向測地区まち協・
三本松まち協～

9月15日(月・祝)三本松まち協、
向測地区まち協では、それぞれ敬老
式典を開催しました。

三本松地区では、対象者の約半数



▲お祝いしている様子

にあたる78人の方々にご参加いた
だきました。式典は、物故者への黙
や新会員の紹介、米寿祝いの贈呈、
来賓祝辞が行われた後、地元グル
ーやまち協所属のサロンの計4団体
の演目が披露され、短い時間では
ありましたが、皆さんに楽しんで
いただきました。

一方、向測地区でも、対象者97人
のうち約半数にあたる44人の方々
にご参加いただきました。三本松ま
ち協と同様に、式典は物故者への黙
から始まり、新会員の紹介、実行委
員会長式辞、来賓祝辞、そして記念
品の贈呈、新招待者代表謝辞が行
われ、その後の余興では一昨年好評



▲落語を聞き大笑い！

向測地区でも高齢化が進み、「祝
われる人も祝う側」と事業負担が大
きいことから今回で祝典が最後とな
りました。次世代への継続は日々難
しいことですが、形を変えて残せる
ものは残していきたいです。



アオツツラフジ

菊山野で木に絡まって伸びている蔓
性の植物の中に、広卵形ないし卵円形
の葉で、裏表ともに細かい毛を密生す
る少し厚みを感じる葉を付けた植物が
あります。

これがアオツツラフジで、葉の表面が
つるつるで光沢を有するものもありま
す。夏に黄白色の花を咲かせた後、今は、
青紫く黒色の果実となっています。果実
に米麹やイースト菌などを混ぜて発酵さ

せると、ブドウ酒のようにおいしい酒に
することが出来ます。

アオツツラフジの根に近い部分の太
い茎や、根を秋から冬に採集して乾燥さ
せたものは木防己といい、一日10～15g煎
じて服用するか、煎じ液を湯船に入れて
入浴すれば、鎮痛、利尿剤となり、関節
炎、神経痛、リウマチ、中風、脳溢血、
浮腫、膀胱炎、水腫、淋病、皮膚病の一
つ癰腫、喘息に効果があります。



※当市で「薬草活用講演会」をしていたいた
村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草逍遙(やくそうしょうよう)は、
毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けする
コラムです。

問 商工産業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075